


令和2年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立町田工業高等学校 全日制課程		進路実績 特徴	4年制大学	5.9%	短期大学	0.7%	専門学校	34.9%	就職	48.7%	その他	9.8%
		進路決定率100%を目指す(31年度就職内定率100%)。就職・進学いずれにも対応した進路指導												
基本情報	所在地 町田市忠生一丁目20番地2			電話番号	042-791-1035									
	アクセス (1) JR横浜線町田駅、小田急線町田駅下車 (2) 町田バスセンター3番から「小山田桜台」行き「町田工業高校前」下車1分 (3) 町田バスセンター11番、12番、13番から「上宿」下車徒歩5分			主な部活動 硬式野球、バドミントン、卓球、サッカー、バスケットボール、ラグビー、鉄道、演劇、吹奏楽、茶道、ロボット他多数 マシクラフト部(エコーカー大会連続出場)、フラダンス部フガールズ甲子園全国7位入賞)										
本学情報	学 科 総合情報科			学校評価 学校満足度肯定意見 生徒 75% 保護者 82%										
	在籍生徒数 総合情報科 439人 (男子 337人 女子 102人)			入 学 者 選 抜 情 報 募集人員 推薦:男女70人、一般:男女105人										
報 告	教育課程の特徴 『総合情報科』基礎科目は共通履修(1年),2年から専門課程を4系列より選択 習熟度別授業(数学・英語・工業数理),少人数授業(国語・体育・専門)			30年度入学生 推薦 1.90 31年度入学生 推薦 1.27 02年度入学生 推薦 1.16										
	ホームページ www.machidakogyo-h.metro.tokyo.jp			30年度入学生 学力検査 1.02 31年度入学生 学力検査 0.95 02年度入学生 学力検査 0.90										
その他 Cisco Networking Academy 認定校、海外学校間交流推進校、安全教育推進校			その 他 の 特 徴 ・推薦選抜では作文に替えて実技検査を実施します ・工業高校としては女子の志望者、在籍者が多いです(約20~25%)											
制服 男子 プレザ(紺),ネクタイ,スラックス 女子 プレザ(紺),リボン,スカート(スラックス可)			主な学校行事 文化祭、体育祭、マラソン大会(1、2年)、芸術鑑賞教室、修学旅行(3年)、遠足(1、2年)、工場見学(2年)、インターシップ(2年)、課題研究発表会(3年)											

目指す学校 生徒に幅広い『ITスキル』と社会人として備えるべき『考える力』をつけ、Society5.0で活躍する技術者を育成する学校を目指す。
『モノづくり』と『コトづくり』、そして『人づくり』 都内唯一の『総合情報科』の工業高校として情報活用能力を育て実践的な職業教育を推進する。

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価									
目標①	「生徒の希望進路の実現」を果たす ・最後まであきらめさせない励ましの指導を全校的に継続する。 ・進路ガイダンス等を計画的に実施し、社会人として望ましい勤労観・職業観を育む。 ・インターンシップを充実させ職業に対する理解を深めさせる。 ・より有用な資格等への継続的受験奨励・指導で合格に導き、自己肯定感を高める。										
目標②	「充実したわかる授業」、「いつでも、どこでも、誰でも」の組織的な生徒指導 ・やる気を引き出す「充実したわかる授業」を展開する(AL、ICT利用など)。 ・「身に付けさせる規律・規範」に基づき、全教職員が一致して、厳しくも温かい生活指導を実践する。 ・健康づくり、安全管理、環境美化を徹底する。 ・防災教育を充実させて、自助・共助の意識と能力を育てる。										
目標③	本校の特色を理解した志望者を増やし、応募倍率の向上を図る ・「総合情報科」の特色や改革内容に関連した説明会やものづくり教室等の充実、活動内容の積極的発信で本校を理解した応募者増を図り、入学生が本校教育課程にマッチングできるようにする。 ・小中学生向けの体験会やものづくり関連事業に積極的に取り組み、小中学校や地域との連携を推進する。										

数値目標	今年度の数値目標の内容	29年度		30年度		31年度		今年度		03年度	04年度	05年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	進路決定率100%、自身の希望する進路を全員が決めて卒業する。	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%	100%	100%
目標②	全学年生徒の退学者の割合を2.0%以下とする。	2.0%	0.7%	2.0%	4.6%	2.0%	4.4%	2.0%		2.0%	2.0%	2.0%
目標③	推薦に基づく選抜の応募倍率を1.5倍以上とする。	2.0倍	1.9倍	2.0倍	1.3倍	2.0倍	1.2倍	1.5倍		1.5倍	1.5倍	1.5倍


情報テクノロジー系列 新設

・アプリケーション系列

(オフィス・ソフトの活用、アプリの開発)

・情報システム系列

(ハードウェア、ネットワーク技術の習得)



情報 テクノロジー 系列 (2学級)

(ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、プログラミング等を総合的にバランスよく学習)

企業・上級学校との連携 TOKYO P-TECH

日本IBMの社員の方々による講演、専門分野の授業、年間を通じたメンタリングを実施しています。この実績に基づいて、参加企業も拡大して、本校の3年間と専門学校での2年間、計5年間のスパンでIT人材育成をする「TOKYO P-TECH」が稼働



日本アイ・ビー・エム本社での研修



本校での出張授業(ネットワーク技術)

町エグローバルITエンジニア 育成プログラム

独立行政法人 国際協力機構 (JICA)の後援のもと、国際理解研修、日本文化-ITやCiscoなど、世界的なIT企業による学習支援、ベトナムでのスタディーツアー(希望者)等により、平成29年度は、日本大使館、JICAベトナム、ハノイ税関、NTTデータベトナム、NEC及び富士通のベトナム支店等でフィールドワークやプレゼンテーションなどを交えて研修を行い、また、ベトナムの歴史に触れる史跡等を巡り、国際感覚を身につけたITエンジニアを育成しています。



企業での研修(Cisco)



ベトナムスタディーツアー(JICAベトナムにて)